

第36回地本定期大会を開催！

和歌山地方本部は8月30日（土）和歌山市 JA ビルにおいて第36回定期地方本部大会を開催し、代議員、傍聴者、来賓、執行部合わせて約70名が出席した。議長には和歌山駅連区分会の桑滝代議員、新宮運輸分会の森下代議員を選出し、昨年の大会以降1年間の運動を振り返るとともに、向こう1年間の運動方針を提起し、満場一致で採択した。来賓には、JR和歌山支社より富澤支社長、連合和歌山より山本会長、和歌山県議会より藤本議員、JR西労組地方議員団会議所属広川町議会より梶原議員にお越しいただき、それぞれの立場より激励・応援の想いを込めたごあいさつをいただいた。また、日頃お世話になっている各方面の友誼団体や各地本・総支部からの激励のメッセージも会場に届けられた。

そしてJR西労組中央本部からは、川端書記長、中村業務・福祉対策部長、白井情宣・文化レク・政治部長、高田組織・業務部次長の4名にお越しいただいた。中央本部を代表して、川端書記長より「JR西日本を取り巻く状況と盆輸送を含む収入状況に触れられ、①安全確立について②組織について③労働協約改定交渉・業務課題・26春闘・一時金について④政治・政策について⑤共済・福祉対策について」5点についてごあいさつをいただき、最後まで大会にご参加いただいた。



可能な地域公共交通の構築に向けて、地域共生部門の取り組みへの理解と連携を軸とし、労働者だけでは課題解決できない問題については、自治体や地方議員と協力して組合員の不安解消を図る取り組みを行う」5点について触れられ、今大会における課題提起を含めたごあいさつがあった。

大会では代議員8名から「賃金昇進制度や職場環境、組織・業務課題、自然災害に伴う課題、各種手当等への要望など」20項目について発言が出され、一致団結してそれぞれの課題解決に真摯に取り組んでいくこと、組合員とその家族の生活と希望を持って働き続けることができる将来を守ることを全員で確認し、2025年度の方針が承認された。

また本年は役員改正の年度であり、各部会の部課長等が特別執行委員として選出された。そして大会の最後は、組合員の総団結で取り組む決意を込めた堂脇執行委員長の力強い団結ガンバローで締めくくった。地本定期大会以降、各支部・分会大会や部会委員会が開催されることとなるが、各級機関大会等でも組合員からの声を届けていただくよう要請する。

和歌山地本執行部を代表し、堂脇執行委員長より「①安全の確立について、今なお一歩間違えれば死亡労災や重大事故につながりかねない危険な事象が発生しており、働く者の立場から更なる実効性のある安全対策を検証していくことが必要である。②組織の充実・強化の取り組みについて、新規採用のみならず、社会人採用やカムバック制度で入社した新たな仲間へのフォローの強化をお願いしたい。③2025春闘について、JR発足後最高額となるベースアップを勝ち取ることができた。2026春闘においても春闘勝利に向け各分会執行部の皆さんの奮闘を要請する。④業務課題について、日々の業務課題について検証を行い、課題が見つかれば迅速に声を挙げてほしい。⑤地域と地方

ローカル線活性化について、持続

2025年度執行体制(第36回定期大会2025.08.30改選)			JR西労組和歌山地方本部
役職名	氏名	所属分会	任務分担
執行委員長	堂脇 義史	和歌山支社分会	全体総括〔専従〕
副執行委員長	中田 隆博	田辺保線区分会	業務、財政総括
副執行委員長	脇村 誠規	紀伊田辺電気分会	組織、総務総括
書記長	藤々木 正幸	和歌山駅連区分会	企画、書記局、退職者協議会〔専従〕
執行委員	眞鍋 道俊	和歌山車掌区分会	総務、財政部長
執行委員	林 和弘	和歌山保線区分会	業務部長
執行委員	西 良也	新宮運輸分会	組織部長
執行委員	新家 華子	和歌山支社分会	男女平等参画担当部長
執行委員	小田 貴生	和歌山支社分会	政策・調査、政治部長
執行委員	尾西 良介	和歌山電車区分会	教育部長
執行委員	中川 陽介	紀伊田辺運転区分会	文化・レク部長
執行委員	福本 拓良	和歌山電車区分会	福祉対策、情宣部長
特別執行委員	松川 雅彦	紀伊田辺運転区分会	業務部次長、鉄道運転部会担当
特別執行委員	安倍 優一	和歌山車掌区分会	業務部次長、鉄道営業部会担当
特別執行委員	鉛口 拓児	和歌山施設区分会	業務部次長、鉄道工務部会担当
特別執行委員	中辻 拓	和歌山支社分会	業務部次長、間接部門部会担当
特別執行委員	瀬古 加菜子	和歌山駅連区分会	連合和歌山女性委員会 幹事
特別執行委員	上地 健太郎	和歌山車掌区分会	青年女性委員長
会計監査員	石井 晃司	新宮運輸分会	
会計監査員	東山 直人	和歌山電気区分会	